

混雑検知システム

お客様の来店人数、混雑状況を把握します



センサにより人の滞留をカウントし、混雑状況をデータ化することができます。
また、混雑状況をヒートマップ表示により可視化することも可能です。

POINT

- 上方よりセンシングするため、カメラ機器などに比べて人や物による死角の影響を受けにくく、精度の高い検出が可能です。
- センサの設定により 通過カウント、滞留判定などお客様の用途に合わせた使い方が可能です。
- 高さ方向の検出範囲を絞り込むことで、大人・子供などを判別したカウントが可能です。

【主な機能】

1 センサ単独機能

Customer Dwell

設定した検知エリア内での滞留時間を秒単位で測定し、データはヒストグラムとして表現できます。

Employee Detection

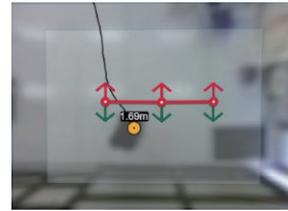
専用ストラップを着用したスタッフをカウントから除外、もしくは個別にカウントできます。

Heat Map

Estate Managerによって人の流動傾向の特定が可能です。

2 センサ設定エリア例①

- ・LINE設定では検知エリア内に設定したカウントラインを通過する人のカウントを行います。検知ラインの通過方向を指定することでIN/OUTなどの判定が可能です。



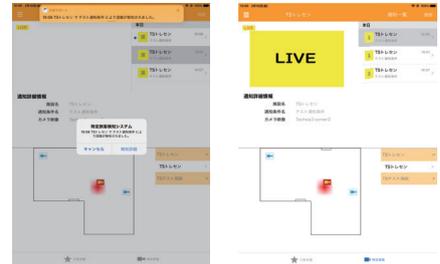
3 センサ設定エリア例②

- ・ZONE設定では検知エリア内に設定したカウントエリアに滞留するお客様の人数をカウントします。滞留判定までの検知時間は任意に設定できます。



4 通知例 (タブレット端末使用時)

- ・カウント数に応じて混雑と判定したセンサがある該当箇所をポップアップ表示と通知によりシステムご利用者へお知らせします。



5 ヒートマップ表示例

- ・センサ検知結果に応じた混雑度合いを、MAP画面内に色により表現することができます。



導入事例

大阪府・大阪大学・摂津市の「10歳若返り実践モデル事業」において本システムをご採用頂きました。



※センサ検知エリア及び設定可能範囲は設置環境により異なります。※本システムのセンサは室内仕様になります。屋外での使用の場合は別途雨除けフード等による防水対策が必要となります。
※腐食性ガスが多い環境ではセンサが正常に動作しない可能性があります。※オンラインで運用する場合は別途インターネット環境をご準備いただく必要があります。

